

平成 25 年度 事業計画書

自 2013 年 4 月 1 日 至 2014 年 3 月 31 日

公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会



目 次

I 平成 25 年度 財団経営方針

II 経営理念

III 基本方針

IV 事業計画策定の基本方針

- 1 組織の効率化に向けた事業実施体制の再設計
- 2 マーケティング戦略の策定及びプロモーションの強化
- 3 時代のニーズに対応した事業内容の再構築
- 4 人材の育成と人的資源の積極活用
- 5 収支コストの最適化

V 平成 25 年度 事業概要

- 1 青少年の健全育成と社会参加に関する事業
- 2 社会教育の推進に関する事業
- 3 市民活動の振興に関する事業
- 4 その他法人の目的を達成するために必要な事業

VI 部門別事業計画書

- 1 こども育成課・児童会館管理課（児童会館・ミニ児童会館）
- 2 こども劇場課（やまびこ座・こぐま座）
- 3 企画事業課（若者支援施設）
- 4 企画事業課（滝野自然学園事業・イベント事業）
- 5 野外活動課（北方自然教育園・定山溪自然の村・青少年山の家）
- 6 市民参画課（札幌エルプラザ公共 4 施設・市民活動プラザ星園）

VII 施設一覧

VIII 平成 25 年度組織図

平成 25 年度 事業計画

I 財団経営方針

平成 25 年度は、公益財団法人として当協会が再出発することとなるが、その法人の目的には、「人とのつながりを通じて青少年の健全育成と青少年女性の社会参加を促進し、魅力あふれる地域社会創造のための主体的な活動を支援することにより、地域社会の発展及び向上を図り、もって豊かな生活の実現に寄与することを目的とする」と掲げており、これらの目的を達成するため、現行の事業を含めた様々な事業活動を通して、直接的に社会貢献する公益財団法人となることが求められている。

また、指定管理者として行う事業においては、2 期目の指定管理期間の最終年度を迎え、新时期への様々な対応も必要となるが、関連する事業と併せて自主事業などの新たな事業にも積極的に取り組むことが今後の法人経営の安定のための重要な要素となる。

企業を取り巻く環境や経済情勢が目まぐるしく変化する中、当協会においても、これらの環境変化に適応し未来を予測して事業を展開することがより一層求められるが、現在の置かれている状況を今一度整理して、全職員が法人の進むべき方向性を認識し未来を共有していくことが、今後も成長する法人であり続ける方法であり、事業の実効性を高める必須の要件となる。

このような状況のもと、経営理念・経営基本方針に基づき、法人の目的達成のための創造性を発揮するとともに、当協会の果たすべき役割と使命を自覚し、新たな年度の事業に全力で傾注することが必要である。



公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会

II 経営理念

「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」

III 基本方針

1. 青少年の健全育成と社会参加の実現に寄与する
2. 市民活動の振興及び社会教育の推進に寄与する
3. 様々なニーズに対応した効果的な事業を展開し、先駆的な事業に積極的かつ直接的に取り組む
4. 自主事業の拡大を図り、自主財源の確保により安定した法人経営を行う
5. 組織の活性化・効率化に向けた改革を行う

IV 事業計画策定の基本方針

1. 組織の効率化に向けた事業実施体制等の再設計

公益財団法人として各種事業を行うにあたっては、各種制度の要求に応えるための新たな業務が増加するほか、平成 26 年度より迎える新たな指定管理期間における収益見込みの規模に対応し、確実に実施可能な人員体制や提案内容の整理が必要となるが、これらの条件整理にあたっては、現行の事業実施体制による事業効果の検証と今後の組織体制の見直しが一部必要となる。

当財団を取り巻く外部環境の変化や未来の経済情勢に対応するため、課においても様々な変化に対応する取り組みを実施し、各種業務の効率化につながる作業方法の検討と事業実施体制の再設計を意識した事業計画を策定すること。

2. マーケティング戦略の策定及びプロモーションの強化

事業を永続的に行うにあたっては、「誰に」・「どのような価値を」・「どのように提供するのか」を中期的な戦略として策定し、これらを整理して、事業を実施していくことが必要となる。また、当財団のこれまでの取り組みと今後の事業展開を多くの人々に広く知っていただくためには、各セクションが連携しメディアなどを含めた様々な情報発信が必要となる。

公益財団法人への移行と新たな指定管理期間への対応を行う平成 25 年度では、平成 26 年度以降を意識した新たな戦略の策定と事業等のプロモーションを積極的に展開し財団及び各種事業のブランディングを推進する事業計画を策定すること。

3. 時代のニーズに対応した事業内容の再構築

社会が急速に変化し多様化する現代にあつて、様々な価値観のもとにあつても必要とされる事業を展開し続けるためには、当協会独自の強みを存分に発揮しながら、それらのニーズも的確に把握して行く必要があるが、そのためには、柔軟に挑戦できる環境づくりとこれまでの事業内容を現代社会のニーズに対応させていくことが必要になる。

信頼される公益法人として、今後も引き続き地域社会の発展に貢献できるよう、事業の再評価及び分析を行い、新しい時代のニーズに対応した事業内容へと再構築を行う。

4. 人材の育成と人的資源の積極活用

当財団の事業は、経費に占める人件費の割合が7割以上となっており、人材こそが最も貴重な財産となっている。将来にわたって、当財団が効果的な事業を展開して行くためには、平素の事業活動や職員の育成を通じて未来を担う人材を絶えず育成して行くことが重要となり、その人的資源を有効に活用して行くことが経営基盤の強化とさらなる発展を目指すための原点となる。

職員研修などを通して職員の資質のさらなる向上を図るとともに、これまでの事業活動を通じて培った知恵・経験・ネットワークなどを最大限に活用した事業計画を平成24年度に引き続き策定すること。

5. 収支コストの最適化

指定管理業務における4年間（平成22年度～25年度）の収支状況については、平成25年度の各事業計画策定によって、期間全体の収益と費用の関係が確認できることから、各施設の事業にかかる収支状況を正確に把握し、現状分析を行うことが今後の事業継続に向けて最低限必要となる。

平成22～24年度における各課決算及び決算見込みを参考に、指定管理期間全体の収益予算に見合う経費予算を作成し、指定管理業務の4年間を総合的に考え、指定管理期間全体のコストバランスを意識しながら、平成25年度予算の作成に取り組むこととする。

V 平成 25 年度 事業概要

1. 青少年の健全育成と社会参加に関する事業

(1) こども育成事業

ア 児童会館及びミニ児童会館事業

【主な事業】

- ・ 青少年活動支援事業
児童クラブ、子育てサロン、障がいのある児童の受け入れなど
- ・ 体験機会創出事業
講習会、発表会、鑑賞会、社会奉仕活動、交流活動など
- ・ 学習支援事業
さっぽろまなびのサポート事業
- ・ 人材育成事業
インターンシップ、リーダー育成事業、子ども運営委員会、
児童会館実習指導など
- ・ 施設管理運営事業
児童会館の管理運営、近隣住民への貸室事業



イ こども劇場事業

【主な事業】

- ・ 人材育成事業
各種講座、講習会、市民劇団育成事業、人形浄瑠璃関連事業、
インターンシップ・実習等の受入れ ほか
- ・ 体験機会創出事業
小学校アウトリーチ事業、読み語りの会、こども舞台体験プログラム、
砂川人形劇創作体験プログラム ほか
- ・ 地域連携事業
こども人形劇舞台祭典、やまびこ座夏祭り、中島児童会館との連携事業
- ・ 施設管理運営事業
こども劇場の管理運営、貸室事業



(2) 若者支援事業

ア 若者支援施設事業

【主な事業】

- ・ 自立支援事業
自立支援プログラム
就労支援トレーニングプログラム
家族会
- ・ 受託事業
地域若者サポートステーション
中学卒業者等進路支援事業
- ・ 体験機会創出事業
社会体験機会の獲得事業
ボランティア・地域活動への参加事業
- ・ 人材育成事業
インターンシップ・実習等の受入れ
地域若者サポーターの育成
- ・ 地域連携事業
さっぽろ子ども・若者支援地域協議会
全国若者支援ネットワーク協議会
地域活動ネットワーク等事業
- ・ 調査研究事業
社会的自立に関する調査研究
社会参加・交流促進に関する調査
- ・ 施設管理運営事業
若者支援総合センター
若者活動センターの管理運営、貸室等



2. 社会教育の推進に関する事業

(1) 自然体験活動事業

ア 滝野自然学園事業

【主な事業】

- ・体験機会創出事業
自然体験活動事業（年代別各種キャンプ事業）
- ・職員派遣事業
専門学校、幼稚園、保育園などへの職員講師派遣
自然体験活動、レクリエーション、リーダー育成などの講師派遣
- ・人材育成事業
インターンシップ・実習等の受入れ、ボランティアスタッフ育成
- ・情報発信事業
こども情報紙「あ・そ・ぼ」の発行
- ・団体支援事業
こども基金事業（体験活動を行う団体への助成事業など）
- ・施設管理運営事業
滝野自然学園の管理運営、貸室等



イ 北方自然教育園事業

【主な事業】

- ・体験機会創出事業
農業体験、自然体験学習、教材用生物の提供事業
- ・地域連携事業
地域住民の自主的な活動及び交流支援事業
- ・学習支援事業
昆虫等標本展示
- ・人材育成事業
インターンシップ・実習受入れ
- ・施設管理運営事業
北方自然教育園の管理運営



ウ 定山溪自然の村事業

【主な事業】

- ・ 体験機会創出事業
自然体験活動
交流促進
プログラム開発・研究ほか
- ・ 地域連携事業
地域ネットワーク
森林管理署との事業協定に基づく事業
他施設（青少年科学館や博物館活動センター等）との連携事業
- ・ 人材育成事業
インターンシップ・実習受入れ
ボランティアスタッフ育成



エ 青少年山の家事業

【主な事業】

- ・ 体験機会創出事業
青少年キャンプ事業
- ・ 人材育成事業
インターンシップ・実習受入れ
ボランティアスタッフ育成
宿泊学習効果の向上のための事前学習
- ・ 団体支援事業
利用団体支援
活動プログラムの開発及び提供



3. 市民活動の振興に関する事業

(1) 市民活動振興事業

札幌エルプラザ公共 4 施設事業

【主な事業】

- ・活動支援事業
企業家支援
NPO 活動支援
市民活動基金
相談・支援事業
- ・人材育成事業
男女共同参画啓発・ワークショップ等事業
市民活動関連事業（ポイント支援、サロン、各種講座など）
環境関連活動事業
インターンシップ・実習受入れ
- ・職員派遣事業
大学、専門学校、初等・中等・高等教育機関などへの職員派遣
- ・地域連携事業
北海道大学環境科院との各種連携
こどもエコクラブ事務局等
- ・情報発信事業
各種情報誌の発行事業



4. その他法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 収益事業

イベント・物品貸与等事業

【主な事業】

- ・ イベント

受託事業（受託型イベント事業）

企画提案事業（公募型プロポーザル方式事業）

- ・ 物品貸与等事業

活動支援事業（各種物品の貸出事業）



(2) その他の事業

施設管理運営、公益目的外での施設貸与事業

【主な事業】

- ・ 指定管理施設の管理運営事業

札幌エルプラザ公共4施設貸室事業

定山溪自然の村貸室事業

青少年山の家貸室事業

- ・ 受託施設の管理運営事業

市民活動プラザ星園貸室事業

- ・ 指定管理施設の公益目的外での施設貸与事業

こども劇場貸室事業、入場料収入

若者支援施設の貸室事業

VI 部門別事業計画書

こども育成課

児童会館・ミニ児童会館

| | | |
|------|---------------------------|--|
| 事業方針 | 人とつながり、心が通い合う児童会館づくりをめざす。 | |
| 重点目標 | 地域活動等事業 | <ul style="list-style-type: none"> ①児童会館の活動を市民に広くPRを図る。 ②社会貢献事業に取り組む。 ③関係機関との連携を図る。 |
| | 施設運営等事業 | <p>【事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①異年齢による遊びや豊かな体験をととして子どもの生きる力を育む。 <ul style="list-style-type: none"> (1)読書活動の推進 (2)図書環境整備 (3)放課後子どもプラン推進事業の充実 (4)日常活動・体験活動の充実 (5)子ども運営委員会のレベルアップ (6)中高校生の利用の促進 (7)広報活動の推進 ②関係機関と協力し、地域の中の子育ての拠点を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> (1)関係機関との連携 (2)地域コーディネーター (3)児童クラブ (4)障がいのある児童の受け入れ (5)子育てサロンの充実 ③子どもにとってより良い運営を目指しサービスの向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> (1)利用者アンケート調査の実施 (2)苦情等 (3)職員研修 <p>【管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地球温暖化の防止や循環型社会の形成から地球環境問題を視野に入れ、経費節減や効果的な運営維持を進める。 <ul style="list-style-type: none"> (1)施設管理 (2)地球環境問題 (3)経費節減 ②平等利用を基本とし、地域から愛される児童会館の運営を目指す。 |

①児童会館地域運営委員会全館設置

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|----------|----------|
| 104 館 | 80 館 | 77 館 |

②ボランティア交流・研修事業を年1回以上実施。

③読み聞かせ（ボランティア、職員、児童）を月4回以上実施（全館）。

④利用者アンケート調査結果については、総合満足度：70%を目指す。

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|----------|----------|
| 70%以上 | ※調査中 | 75, 86% |

- ・公正な方法で利用者のアンケート調査を行い、児童会館利用者の満足度等を測定し意見、要望等の把握により評価し、改善に努める。
- ・22年度～25年度の集大成としての実践。子どもや大人のアンケートの分析や実践結果を元に次期指定管理に向けた児童会館の運営を検討する。

| 事業内容 | 時期・回数 |
|--|------------------------------|
| 1 青少年活動支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン事業 ・放課後児童クラブ事業 ・障がいのある児童の受け入れ ・中・高校生夜間利用等運営事業 ・放課後子ども館事業 | ※実施時期・回数については各会館によって異なるため省略。 |
| 2 体験機会創出事業 <ul style="list-style-type: none"> ・講習会・発表会（各種発表会等事業） ・観賞会（人形劇・演劇鑑賞等） ・社会奉仕活動（清掃活動、施設訪問、防犯・防火活動等） ・環境活動（ごみゼロ大作戦事業、プルタブ大作戦事業） ・交流活動（地域交流、お泊まり会、合同行事等） ・季節事業（歳時的事業、おまつり等） ・野外・自然体験活動事業（キャンプ事業、畑づくり、遠足等） ・伝統芸能活動事業（伝承あそび、生け花、茶道、将棋、華道等） ・体力増進・スポーツ事業（日常あそび、外あそび、サッカー等） ・創作活動事業・読書活動の推進・図書環境整備事業 | |
| 3 学習支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動事業（学習レシピの活用等） ・まなびのサポート事業「遊学舎 まなべえ」 | |
| 4 人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー育成事業・子ども運営委員会 ・インターンシップ・実習受入事業 | |
| 5 施設管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・児童会館の管理運営、貸室事業 | |

事業方針

平成 25 年度については、公益財団法人への移行 1 年目、そして 2 期目の指定管理最終年ということもあり、活動協会全体、そしてやまびこ座、こぐま座にとっても大変重要な年である。地域社会における役割を更に明確にし、文化施設としての創造拠点、より優れた児童文化の発信、人材育成の強化、劇場のノウハウを生かした地域への積極的な文化支援を行っていく。また、これまで継続してきた東日本大震災の被災地文化支援活動を続けて実施していく。他団体や関係機関との協力体制をより一層、積極的に強化し、経費面での効率化を図るとともに、低経費でより効果的な事業成果を上げていくことを目指していく。

重点目標

地域活動等事業

①地域社会における文化的役割と意義

全国でも数少ない公立の児童文化施設としての役割を明確にし、札幌はもとより北海道、さらには全国に向けて児童文化の普及発展、文化芸術の持つ力を最大限に生かしていけるよう、関係機関と連携しながら事業を展開していく。

施設運営等事業

①市民のための劇場（施設）づくり

②人材育成と創造型の劇場運営

③最少経費で最大効果を（経費節減への意識転換）

④児童文化の発信基地及び文化施設としての役割の明確化

数値目標

(1) やまびこ座・こぐま座共に年間公演数 200 ステージの確保。

■平成 23 年度実績：やまびこ座 216 ステージ、こぐま座 218 ステージ

■平成 24 年度実績：やまびこ座 223 ステージ、こぐま座 232 ステージ

(2) 3 団体以上の新規人形劇団の誕生、育成

■平成 23 年度実績：1 劇団

■平成 24 年度実績：3 劇団

(3) 観客数の 3%増加を目指す。

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------|
| や：約 17,900 人 こ：約 10,800 人 | や：約 17,400 人 こ：約 10,500 人 | や：18,511 人 こ：11,152 人 |

| 事業内容 | 時期・回数 |
|-------------------------------|---------------|
| 1 人材育成事業(一般対象) | |
| ・東区市民劇団育成事業 | 5月～11月 25回 |
| ・初心者・経験者のための人形劇講座 | 4月～10月 13～20回 |
| ・人形浄瑠璃講習会／義太夫講習会 | 5月～12月 全5・4期 |
| ・手作り絵本講習会／腹話術初心者入門講座 | 8月 / 11月 |
| ・初心者のための舞台照明講座 | 通年随時 |
| ・指導派遣事業 砂川人形劇創作体験プログラム | 8月～3月 |
| ・短期特別講習会・劇団育成支援事業 | 通年随時 |
| 2 人材育成事業(子ども対象) | |
| ・やまびこ座遊劇舎 | 5月～12月 35回 |
| ・第11期 劇☆やまびこ座 YOUTH | 6月～2月 38回 |
| ・ざ・にんぎょうじょうりゆうリユースクラス／義太夫講習会 | 5月～2月 全5・4期 |
| ・こぐま座こども人形劇団 | 5月～3月 40回 |
| ・こぐま座パペットユースクール | 6月～10月 20回 |
| ・こども舞台体験プログラム「ふれアート」 | 5月～1月 3回 |
| 3 体験機会創出事業 | |
| ・元町北小学校アウトリーチ事業 | 11月、12月 |
| ・読み語りの会 | 通年(毎週水曜日) |
| 4 地域連携事業 | |
| ・2013 やまびこ座夏まつり | 8月 2日間 |
| ・さっぽろアートステージ(シアターゴ-ラウンド) | 通年 |
| ・中島児童会館協働事業 | ①7月／②1月 |
| (①開館記念祭／②あそびの劇場／③読み語り入門講座) | ③11月～12月 8回 |
| 5. 公演事業 | |
| ・やまびこ座開館25周年記念公演(夏休み特別公演) | 7月、8月 |
| ・やまびこ座プロデュース公演／プロデュース人形劇 | 3月 5回公演／未定 |
| ・冬休み、春休み特別公演 | 1月、3月 |
| ・第42回札幌人形劇祭 | 11月 2日間 |
| ・人形浄瑠璃公演「座・競演Vol.4」 | 10月 2回公演 |
| ・共催公演・依頼公演 | 通年随時 |
| 6. その他事業 | |
| ・継続被災地支援活動(チャリティー公演、福島支援人形劇等) | 4月～12月 |
| ・人形劇スタンプラリー、物品販売事業、事業サポーター制度 | 通年 |
| ・こども人形劇舞台祭典 in ISHIKARI | 1月～3月 |
| ・こどもの劇場通信 | 年6回発行 |
| ・企画展示 | 7月、8月 |
| 7. 施設管理運営事業 | |
| ・こども劇場の管理運営業務、貸室事業、入場料の徴収 | 通年 |

事業方針

平成 24 年度に取り組んだ三本柱プロジェクトによる個人支援いわゆる“おひとりさま”向けのワークショップは、自立支援事業・交流促進事業・社会参画事業を融合させた試行的取り組みとして一定の成果を挙げることができたことを踏まえ、検証を加えながら次期指定管理業務の提案を見据えた取り組みを検討していく。

平成 25 年度は、指定管理期間の最終年度として今一度、管理業務の計画書に描いた基本方針である「若者の総合支援の拠点として」、「施設内での支援から地域に働きかける支援へ」、「札幌のまちづくりへの貢献と担い手の育成」を検証し、平成 26 年度からの指定管理業務への布石となる事業展開をこれまでの 3 年間で培ったネットワークを軸により深い連携協力を推進する。

また、平成 24 年度に派遣した北欧圏におけるユースワーク研究を題材として、日本における若者の自立支援から社会参画までを実践できるユースコミュニティワーカーとしての職員の力量形成に引き続き力を入れる。

その中で、4 月 1 日に移転オープンする新若者支援総合センターにおいては、札幌市内中心部に設置される立地条件を最大限に活用し、10 代からの将来の引きこもり予防としての居場所作りに着手する。

重点目標

地域活動等事業

- ①今までの成果を広める広報活動を充実させる。
- ②若者支援総合センターと若者活動センター機能の融合が図れる事業展開を進める。
- ③他機関との連携強化を重視した事業展開に努める。
 - ・自立支援関連 子ども若者育成支援協議会
NPO 法人コミュニティワーク研究実践センター
＋地域で活動している団体および機関（新規開拓）
 - ・交流参画関連 各まちづくりセンター
市民活動プラザ星園
市民活動サポートセンター
＋地域で活動している団体および機関（新規開拓）

施設運営等事業

- ①館内外の整理整頓及び美化を徹底することで、利用者へのサービス向上とエネルギー資源の節約に努める。
- ②施設利用者の意見・要望等へ応えていく。
- ③若者総合支援センター及び、活用方法の P R。
- ④職員の心身の健康管理に留意し、業務配分の適正化・見直しを定期的に行う。
- ⑤社会情勢を加味した専門性を確保するため、職員の自己研鑽を推進する。

(1) 利用証の発行を受けた若者の数

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-------------------|------------------|----------|
| 12,500 人以上 | 11,700 人 (見込) | 13,239 人 |

(2) 若者登録者の延べ利用数

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|--------------------|-------------------|-----------|
| 170,000 人以上 | 164,000 人 (見込) | 182,332 人 |

(3) 自立支援の新規相談登録者数

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------------|------------|----------|
| 440 人以上 | 400 人 (見込) | 316 人 |

(4) 進路決定及び最適な支援機関につながった困難を有する若者数

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------------|------------|----------|
| 220 人以上 | 200 人 (見込) | 154 人 |

(5) 登録若者団体数

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-----------------|-------------|----------|
| 170 団体以上 | 166 団体 (見込) | 155 団体 |

(6) 地域活動の企画運営に携わった若者の数

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-------------------|-----------------|----------|
| 10,000 人以上 | 9,500 人 (見込) | 7,793 人 |

| 事業内容 | 時期・回数 |
|---------------------------------|------------------|
| 1 自立支援事業 | |
| ・ 情報収集・提供（情報コーナー設置・機関紙の発行） | 通年随時・年3回 |
| ・ 自立支援相談窓口の開設 総合相談 | 通年随時 |
| ・ 自立支援プログラム | |
| (1) 初期支援トレーニングプログラム | |
| ・ 食談会・女子会／軽運動・体験会 | 各プログラム 通年 48 回 |
| ・ その他・ロビー交流会 | 通年随時 |
| (2) 就労支援トレーニングプログラム | |
| ・ グループ活動・ワーカーズファーム | 通年 81 回 1627 回 |
| ・ セミナー・ワーカーズチャレンジ／セミナー・仕事塾 | 各プログラム 通年 48 回 |
| ・ 仕事体験・ジョブトレーニング | 通年随時 |
| (3) 若者以外対象事業・家族会 | 通年 12 回 |
| (4) 自立支援事業広報 | |
| ・ 若者自立支援セミナー・視察受入と講師派遣 | 9 月・通年随時 |
| (5) 自立支援その他事業 | |
| ・ 自立支援スタッフのスキルアップ・施設活用型訓練 | 通年随時 |
| 2 受託事業 | |
| (1) 地域若者サポートステーション事業 | |
| ・ 地域若者サポートステーションの受託 | 通年随時 |
| ・ 情報収集・提供 ホームページ管理 | 通年随時 |
| ・ 相談窓口の拡充 継続相談 | 通年随時 |
| ・ 相談窓口の広報 パンフレットの発行 | 5 月 1 回 |
| (2) 札幌市教育委員会受託事業 | |
| ・ 中学卒業者等進路支援事業 | 通年随時 |
| ・ 社会体験機会の獲得事業 | 通年随時 |
| 3 交流促進事業 | |
| ・ 情報収集・提供（情報コーナー設置・ホームページ管理・改修） | 通年随時 |
| ・ 若者団体ネットワーク構築 ENGINE-LINK 構築 | 通年随時 |
| ・ 若者層を対象としたミニワークショップ事業 | 通年随時 |
| ・ 交流促進講座「合同文化芸術祭」 | 5 月、10 月、2 月 3 回 |
| ・ ENGINE-LINK 情報交換会 | 4 月、10 月 |
| 他 | |
| 4 社会参加促進事業 | |
| ・ 情報収集・提供（情報コーナー設置・ホームページ管理） | 通年随時 |
| ・ 地域活動ネットワーク構築 | 通年随時 |
| ・ 社会参加意識の啓発 ボランティア・地域事業への参加 | 通年随時 |
| ・ 社会参加促進講座 地域事業への参加講座 | 7 月、1 月 |
| ・ ロビー発表ボランティア | 11 月 1 回 |
| ・ 札幌市青年団体協議会への支援 | 通年随時 |
| ・ まちづくり人材育成講座 | 通年・9 月だいどんでん |
| 他 | |

| 事業内容 | 時期・回数 |
|---|-------|
| 5 社会的自立に関する調査・研究事業 | |
| ・利用登録時のアンケート実施 | 通年随時 |
| ・テーマを決めた調査研究 | 通年随時 |
| ・若者を取り巻く環境の調査 | 通年随時 |
| 6 人材育成事業 | |
| ・インターンシップ・実習等の受入れ | 通年随時 |
| ・地域若者サポーターの募集と育成 | 通年随時 |
| 7 さっぽろ若者支援ネットワークの構築事業 | |
| ・さっぽろ子ども・若者支援地域協議会の運営 | 通年随時 |
| 8 その他の事業 | |
| ・全国若者支援ネットワーク協議会への参画・若者支援活動の全国展開 | 通年随時 |
| ・職員の専門性の獲得 | 通年随時 |
| ・施設の利用促進事業 | 通年随時 |
| ・若者支援総合センターオープニングイベント | 4月 |
| ・地域実行委員会への参加「土曜はコトニ」事業 他 | 通年随時 |
| 9 交流促進事業（自主事業） | |
| ・若者交流相談 ロビー相談・カフェ | 通年随時 |
| ・交流促進講座（ワークショップ、YOUTH CUP、合同文化芸術祭、地域若者サポーター座談会、ロビーライブコンサート） 他 | |
| 10 施設管理運営事業 | |
| ・若者支援総合センター、若者活動センターの管理業務 | 通年 |
| ・若者施設貸室事業、物品貸出等 | 通年 |



事業方針

- ・当財団所有施設である滝野自然学園の施設と周辺フィールドを効果に活用した特色ある自然体験活動事業を実施し、青少年の健全育成の実現を目指す。
- ・関連団体やボランティアとの協働の機会を増やし、将来的な事業の発展や指導者の輩出を長期的に目指す。
- ・体験型自然学校への発展に近い目標に、周辺環境を最大限に活用したプログラム開発と施設運営を行う。

重点目標

地域活動等事業

- 【事業】 ①ボランティア指導者養成事業
 ②子どもの発達段階に応じた効果的な事業の実施
 ③施設の利用促進
- 【管理】 ①歴史ある施設の計画的な維持管理
 ②環境保護・保全のために循環型の施設運営を行う
 ③活動フィールドの整備・拡大

数値目標

(1) 施設利用収益 10%増加

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|--------------|----------|
| 2,750 千円 | 2,500 千円(見込) | 2,560 千円 |

(2) 年間宿泊利用件数 18%増加

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|----------|----------|
| 33 件 | 28 件(見込) | 27 件 |

| 事業内容 | 時期・回数 |
|--|-------|
| 1 体験機会創出事業 自然体験活動事業 【幼児対象事業】 ・たきの森のようちえん 5月～2月 20回 【小学生対象事業】 ・たきの森のがっこう（小学1年生～6年生） 5月～2月 9回 ・遊習塾リトルキャンプ（小学1年生～3年生） 8月 2期 ・遊雪塾リトルキャンプ（小学1年生～3年生） 3月 1回 ・夏休み！目指せ昆虫博士 7月 1回 【親子等対象事業】 ・大人のための自然学校 4回 ・お父さんと過ごす週末キャンプ 7月、2月 2回 | |
| 2 職員派遣事業 ・その他の指導業務 未定 | |
| 3 人材育成事業 ・滝野自然学園ボランティアスタッフ育成事業 通年 | |
| 4 情報発信事業 ・こども情報誌「あそぼ」の発行 年6回 各回10万部 ・こども環境情報誌「エコチル」への事業告知記事掲載 通年 ・職員向け広報「きょうかいナウ」 月1回 | |
| 5 団体支援事業 ・こども基金事業 通年 | |
| 6 施設管理運営事業 ・滝野自然学園の管理運営、貸室事業等 通年 | |



事業方針

公益財団法人への移行を向かえるなか、現行の寄附行為から変更される新定款の事業反映を全職員が適切かつスムーズに行うなかで、「魅力あふれる地域社会創造」のため「まちづくり・人づくり」に関する事業の展開、「青少年の健全育成」に有益な情報発信を行う。

重点目標

地域活動等事業

- 【事業】 ①確立新規事業の掘り起こし（当協会の事業概要の積極的 PR）
 ②各種媒体を活用した当協会の各種事業情報（告知・報告）の発信
 ③ JICE との連携体制の強化
- 【管理】 ①各課との横断的連携体制構築（事業概要の情報開示、情報交換）
 ②収支バランスと徹底したコスト削減
 ③備品等の適正管理とメンテナンスの徹底
 ④職員の「ワークライフバランス」

数値目標

(1) イベント事業収益総額 4,400 万円以上

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|------------|--------------|----------|
| 4,400 万円以上 | 4,800 万円（見込） | 4,479 万円 |

(2) コスト管理 各事業実収益率 35%以上の確保（約 1,500 万円以上）

| 事業内容 | 時期・回数 |
|--|--------|
| 1 受託事業(受託型イベント事業) 民間企業等から依頼を受けた各種イベントの企画運営 ・「雪まつりつどーむ会場制作・運営」(株式会社ノヴェロ) ・「だい・どん・でん」(大通まちづくり株式会社) ・ミニさっぽろ 2012 (ミニさっぽろ実行委員会) ・「こどもの権利の日事業」(こども未来局) ・「札幌幼児保育専門学校講師派遣」 等 ※前年度実績 | 通年(未定) |
| 2 企画提案事業(公募型プロポーザル方式事業) 公募型企画提案事業(記念イベント他)の実施 ・「さっぽろ水道フェスタ2012」(水道サービス協会) ・「下水道科学館フェスタ」(下水道資源公社) ※前年度実績 | 通年(未定) |
| 3 活動支援事業(各種物品の外部貸出) 4 自主企画事業 ・カヌーキャンプ ・円山動物園との連携事業(共催事業) ・JICEとの連携事業(共催事業) 等 | 通年(未定) |
| 5 人材育成事業 ・資格認定事業 ・スキルアップ講座(年3講座) | 未定 |
| 6 CSR事業 ・被災地支援事業 等 | 未定 |
| 7 調査・研究事業 ・職員研修、外部研修、各種イベント視察 等 | 通年 |



事業方針

多くの市民に事業を通じて札幌の自然環境理解を図り、農作物、生物、博物、地域の歴史など自然科学、自然史系の学習機会と自然体験活動の機会をつくる。

また、公益法人移行に伴い、より一層の社会貢献と今後の施設運営の提案に向けた事業展開を図り、事業運営体制を再構築していく。

重点目標

地域活動等事業

- ①地域社会の自然環境を理解する事業の実施
- ②主に北方自然教育園の自然素材を活用した提供事業の実施
- ③これまでの事業活動等を活用した市民活動支援

施設運営等事業

- ①施設内及び園内の安全管理の徹底を図る。
- ②施設 PR のための広報及び施設内情報提供の充実
- ③学習館入館（観覧）及び貸室業務の拡大
- ④人的資源を活用し工夫した事業内容と冬期来園者増に向けての事業展開

数値目標

(1) 学習館入館料（観覧）収受の開始[※]

※当年度より入館料（観覧）の収受を開始のため現在の無料入館受付から 10%の減に留める。

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|-------------|----------|
| 2,800 人 | 3,174 人（見込） | |

(2) 貸室利用（利用料金等） 20%増加

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|--------------|----------|
| 32,000 円 | 25,300 円（見込） | |

(3) 事業参加人数 20%増加（「農業体験事業」「教材用生物の提供事業」以外）

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|-------------|----------|
| 1,300 人 | 1,065 人（見込） | 1,058 人 |

| 事業内容 | 時期・回数 |
|---|---|
| 1 体験機会創出事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験事業（体験農場） ・ 教材用生物の提供事業 ・ 自然観察・採集等の学習機会の提供 ・ 自然体験学習機会の提供（自然体験学習会） ・ 自然体験・展示に関する情報収集・提供事業 | 5月～3月 6月 通年 全15回 通年 |
| 2 地域連携事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域住民の自主的な活動及び交流支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然ふれあい事業 ・ 市民ボランティア事業 ・ フォーラム等 | 展示10回 自然素材7回 生物2回 自主活動4回 支援活動30回 12月、1月 |
| 3 学習支援事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 自然体験や展示に関する相談業務 (2) 自然観察、飼育栽培に関する研修事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員研修事業 ・ 昆虫飼育体験事業 | 通年 8月 2回 小学校長期休業期間内 |
| 4 その他事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用承認等に関する業務（利用料金等） ・ 広報業務 ・ 物品販売事業 ・ 団体指導事業（指導依頼対応） | 通年随時 通年 通年随時 通年随時 |
| 5 施設管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方自然教育園の管理運営 | 通年 |



事業方針

公益財団法人としての使命を自覚し、現在及び未来の「地域社会の創造」に寄与すべく事業を推進する。

豊かな自然環境をもたらす「歴史、文化、産業」等に触れ、人的資源を含めた地域の特性を最大限に生かした事業運営を進め、自然の営み、自然との関わりを体験するための機会をより多く設けることによって、自然とともに生きる重要性について考え、その方策を実践するための環境を提供することを管理運営の基礎とした、これまでの指定管理期間3カ年の成果、課題等について検証する。

また、次期指定管理の提案に向け、新たな運営管理体制の再構築に取り組む。

重点目標

地域活動等事業

- ① 野外活動の支援
- ② イベント及びプログラム企画内容の充実
- ③ 事業PR活動の推進
- ④ 地域活動等事業の充実

施設運営等事業

- ① 貸室事業におけるサービスの質的向上
- ② 広報業務の強化及びプロモーションの実施
- ③ 新たな運営管理体制の検討
- ④ 能力・専門性を高めるための研修強化

数値目標

(1) ホームページ直帰率[※]の減少(前年度比10%)

※直帰率：ホームページを閲覧して、最初の1ページ目だけを見て、サイト内の他のページに移動せずにサイトから離脱（ブラウザを閉じたり、他のサイトに移動してそのサイトを退出すること）してしまう割合を意味し、割合が低いとホームページの閲覧時間が長くなり、利用率向上に反映する可能性が高くなる。

| 平成25年度 | 平成24年度 | 平成23年度 |
|--------|---------|--------|
| 30% | 40%（見込） | 52% |

(2) 事業参加者の新規参加率の向上

| 平成25年度 | 平成24年度 | 平成23年度 |
|--------|-----------|--------|
| 60% | 47.1%（見込） | 44.9% |

| 事業内容 | 時期・回数 |
|--|-------------------|
| 1 体験機会創出事業 | |
| (1) 利用促進事業(新規利用者の獲得) | |
| ・ファミリーキャンプ、デイキャンプ<初心者キャンプ> | 年 4 回 |
| ・キャンプガイド&サポート事業<初心者ガイド> | 通年 |
| ・大人のためのプレミアムキャンプ<交流活動・活動提案> | 日帰り・宿泊 各 2 回 |
| ・シルバー自然散策、シルバーくつろぎ倶楽部 | 5 月～2 月 6 回／年 3 回 |
| ・野外活動支援<創作活動支援> | 夏休み・冬休み期間 |
| (2) 交流促進事業(施設利用者及び参加者交流向け) | |
| ・キャンプファイヤー<相互交流・親睦> | 年 30 回 |
| ・期間限定特別プログラム<活動提案・交流> | 4 月～1 月 5 回 |
| ・フルーツ・スイーツ倶楽部<活動提案・交流> | 9 月 2 回 |
| ・親子の自然遊び<子育て支援> | 6 月～3 月 10 回 |
| ・自然アート、クッキング交流会<活動提案> | 9 月 1 回／年 4 回 |
| 2 連携事業 (関連団体等との協力体制づくり) | |
| ・地域連携事業 | 年 2 回 |
| ・企業協賛事業、公的施設等連携事業、野外系施設連携事業 | 通年随時 |
| 3 人材育成事業 (人材発掘・自主運営働き掛け) | |
| ・アクティビティ、イベント、天文ガイド 各ボランティア | 通年随時 |
| ・ボランティア自主研修会 (スキルアップ) | 通年随時 |
| ・森もりレンジャー<人材発掘・活用> | 年 7 回 |
| 4 PR事業 (プログラム紹介・団体利用誘致・資料発行等) | |
| ・自然体験プログラムの出前事業、団体利用・事業プロモーション | 通年随時 |
| 5 プログラム開発・研究事業 (事業企画・意見収集等) | |
| ・調査・研究事業／広報・情報収集／試行・提案事業 | 通年随時 |
| ・持込事業支援<会場提供・活動支援> | 通年随時 |
| 6 ガイドプログラム事業 | |
| ・森の工作会、ハンゴウ体験会、星空観察会、夜間プログラム 薪・丸太割り体験会、団体向けガイド事業、自然遊びコーナー | 通年随時 |
| ・森の観察会 | 日曜/祝日/夏・冬休み |
| 7 セルフプログラム事業 (施設利用者の自主的活動) | |
| ・石窯料理体験、わくわくラリー、森の迷路 | 通年随時 |
| ・ドラム缶風呂体験、遊歩道チャレンジクイズ | 5 月～10 月随時 |
| ・アドベンチャーエリア&ミュージアムエリア<開放型スペース活用> | 通年随時 |
| ・アウトドア・クッキング、セルフはんごうタイム | 通年随時 |
| ・スノープログラム | 冬期 |
| 8 施設管理運営事業 | |
| ・定山溪自然の村管理業務、貸室事業、物品貸出等 | 通年 |

事業方針

札幌市の野外教育施設として、生涯学習の観点から野外活動の普及を目的とした利用促進を図るとともに、利用団体の活動の質の向上を図る支援体制を整え安定した運営を目指す。

また、指定管理者の最終年度のため、過去の運営を総括し次期指定管理に向け検証をし、計画書の作成に当たる。

*** 札幌市青少年山の家教育目標**

- ・ 自然に親しみ、自ら学ぶ (自然とふれあう)
- ・ 友情を深め、仲間とともに働く (人とふれあう)
- ・ 自分に挑戦し、強い心とたくましい身体をつくる (自分とふれあう)

重点目標

地域活動等事業

①学校教育及び社会教育の課題解決に寄与する事業、宿泊学習や利用団体の活動プログラムに反映されるプログラム開発を含めた形で事業を実施するとともに、その効果を広く周知し、新規活動フィールドの有効活用を検討及び活動プログラムの充実を図る。

②他関係企業や NPO との連携協力を深め、事業運営及び管理運営の充実を図る。

施設運営等事業

①安全安心な活動のための施設管理体制を、これまで以上に向上を図る。

②計画的な施設運営による、経費の削減に努め、修繕及び備品の更新等、中・長期的な維持管理計画の策定を行う。

③次期指定管理に向け、4 年間の現状を踏まえ施設管理及び管理体制を確立する。

数値目標

(1) 利用人数 82,000 人 (延べ 75,000 人の予定 下見等 7,000 人)

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|---------------|----------|
| 82,000 人 | 81,000 人 (見込) | 78,524 人 |

(2) 利用満足度 80%以上 (アンケート調査を実施)

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|------------|----------|
| 80%以上 | 92.1% (見込) | 92.6% |

| 事業内容 | 時期・回数 |
|--|--|
| 1 体験機会創出事業 (1) 青少年キャンプ事業 ・ なかよしキャンプ ・ トライキャンプ ・ スキーキャンプ (2) 生涯学習事業 ・ 自然観察ハイキング ・ 陶芸体験会 ・ しめ飾り作り体験会 ・ ナイトハイキング | 通年 日帰り 3 回、1 泊 1 回 9 月～10 月 日帰り 1 回、2 泊 1 回 1 月 2 泊 1 回 通年 日帰り 4 回 通年 日帰り 2 回 3 回 12 月 日帰り 2 回 日帰り 1 回 |
| 2 人材育成事業 ・ 指導者ワークショップ ・ ボランティアスタッフ活動 ・ ボランティアスタッフフォローアップ研修 | 未定 通年随時 通年 日帰り 3 回 |
| 3 団体支援事業 (1) 活動支援事業 ・ 利用団体支援 ・ 利用事前研修会（下見会・説明会） ・ 出前授業 ・ 閑散期宿泊学習プログラム支援 ・ 野外活動体験会 (2) 利用促進事業 ・ 市内小学校利用抽選会 ・ 市内中学校・市外校・一般団体への利用促進 ・ 野外教育・施設に関する情報の発信 | 通年随時 通年 通年 90 回程度 11 月～12 月 10 校程度 1 回 6 月 1 回 随時 通年随時 |
| 4 施設管理運営事業 ・ 青少年山の家管理業務 ・ 青少年山の家貸室事業、物品貸出等 | 通年 通年 |

事業方針

札幌の特性を活かしたまちづくり活動への、市民意識の高揚を図る。

重点目標

地域活動等事業

①市民要望を取り入れた利便性の向上

施設運営等事業

①施設管理における省エネルギー化
②施設管理事務の効率化
③事業成果の広報強化
④関連する団体及び機関との連携

数値目標

(1)施設全体管理

年間施設総利用者数 690,000 人

| | | |
|-----------|---------------|-----------|
| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
| 690,000 人 | 668,800 人（見込） | 595,682 人 |

(2)男女共同参画センター

キャリア形成講座「役立つスキルを学べた参加者」受講者数の 70%

| | | |
|----------|----------|----------|
| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
| 70% | 30%（見込） | |

(3)市民活動サポートセンター

市民活動団体等新規登録数 年間目標 200 団体

| | | |
|----------|------------|----------|
| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
| 200 団体 | 150 団体（見込） | 212 団体 |

(4)環境プラザ

キッズページアクセス数 20%増加

| | | |
|------------|----------------|------------|
| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
| 6,350 アクセス | 5,293 アクセス（見込） | 2,053 アクセス |

施設見学利用件数（総合的な学習含む） 20%増加

| | | |
|----------|----------|----------|
| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
| 73 件 | 61 件（見込） | 92 件 |

| 事業内容 | 時期・回数 |
|-------------------------|----------------|
| 1 活動支援事業 | |
| ・ チャレンジ支援事業 | 通年 |
| ・ 働く女性のためのキャリア支援事業 | 通年 |
| ・ 子育て支援事業 | 通年 |
| ・ 男女共同参画団体支援事業 | 通年 |
| ・ 女性のための総合相談 | 通年 250 回程度 |
| ・ 女性のための法律相談・仕事悩み相談 | 通年 各 50 回程度 |
| ・ 男性のための悩み相談事業 | 通年 |
| ・ ワーキングマタニティスクール | 年 6 回 |
| ・ サテライト事業～チカホで団体活動紹介 | 年 4 回 |
| ・ サテライト事業～活動事例紹介冊子の制作 | 11 月 1 回 |
| ・ マッチング事業 | 9 月 1 回 |
| ・ 市民活動団体向け事業円滑化資金貸付基金事業 | 募集 5 月～6 月 |
| ・ 環境活動団体の支援 | 通年随時 |
| ・ 環境教育教材の貸出業務 | 通年 |
| ・ 企業の社会貢献活動推進事業 | 通年 |
| 2 人材育成事業 | |
| ・ 子ども・若者への男女共同啓発事業 | 通年 全 18 回程度 |
| ・ 男性のためのエンパワーメント事業 | 通年 全 9 回程度 |
| ・ ファシリテーター養成講座 | 通年 |
| ・ 女性に対する暴力をなくすための事業 | 通年 年 3 回 |
| ・ サポーター事業 | 通年 |
| ・ 市民活動相談 | 年 4 回 |
| ・ 相談員研修 | 通年 |
| ・ NPO インターンシップ | 8 月 1 回 |
| ・ ポイント支援事業 | 年 3 回 各回 2 日間 |
| ・ サロン事業～しみさぼつながるカフェ～ | 毎月 20 日 11 回 |
| ・ サロン事業～ミッション PR～ | 年 3 回 |
| ・ こどもエコクラブ | 通年 年 20 回 |
| ・ こどもエコクラブ交流会 | 年 3 回 |
| ・ 環境プラザがやってきた（アウトリーチ事業） | 年 4 回程度 |
| ・ 教育機関への学習支援 | 通年随時 |
| ・ 展示物学習支援業務 | 通年 |
| ・ 環境教育リーダー派遣制度・全体会 | 通年随時 |
| ・ 環境保全アドバイザー派遣制度・全体会 | 通年随時 |
| ・ ESD 促進集会事業 | 6 月～12 月 1 回程度 |
| ・ 環境教育プログラム・トライアル事業 | 通年 |

| 事業内容 | 時期・回数 |
|-----------------------------|----------|
| ・サタデーテーリングの登録 | 通年 |
| ・インフォメーションリテラシー講座 | 年 3 回 |
| ・広報力アップ講座 | 年 6 回 |
| ・ライブラリーサロン | 通年 |
| ・ブックトーク | 年 3 回 |
| ・ヒューマンライブラリー事業 | 年 4 回 |
| ・読書会 | 9 月 1 回 |
| ・情報交流サロン | 通年 |
| 3 職員派遣事業 | |
| ・出張講座 | 通年 |
| 4 賑わい創出事業 | |
| ・エルプラまつり | 9 月 1 回 |
| ・北 8 条通アマとホップのフラワーロード事業 | 5 月 1 回 |
| ・キャンドルナイト事業 | 6 月 1 回 |
| ・スノー・アイスキャンドル大作戦 | 2 月 1 回 |
| 5 地域連携事業 | |
| ・共催事業 | 通年随時 |
| ・環境関連施設等連携事業 | 通年 |
| ・全国環境教育ネットワークへの参加 | 通年 |
| 6 情報発信事業 | |
| ・男女共同参画情報誌「りぷる」の発行 | 11 月 1 回 |
| ・ホームページの管理等インターネット活用事業 | 通年随時 |
| ・男女共同参画の啓発冊子の発行 | 10 月 1 回 |
| ・男女共同ワークショップ事業 養成本販売 | 通年随時 |
| ・HP「さっぽろまちづくり総合情報ポータル」の管理運営 | 通年 |
| ・HP キッズページプロジェクト | 通年 |
| ・市民活動情報誌の発行 | 年 3 回 |
| ・メールマガジンの発行 | 毎週金曜日 |
| ・講師派遣パンフレット・ポスター作成業務 | 1 月 1 回 |
| ・クリッピング事業 | 通年 |
| ・図書紹介事業 | 通年 |
| ・上映会 | 通年 |
| ・図書等整理・貸出業務 | 通年 |
| 7 施設管理運営事業 | |
| ・エルプラザ公共 4 施設の管理業務 | 通年 |
| ・エルプラザ公共 4 施設の貸室事業、物品貸出等 | 通年 |

事業方針

市民まちづくり活動促進基本計画に沿って、「多種多様な市民まちづくり活動の充実と発展」・「市民まちづくり活動の連携促進」・「自主的・自律的な市民まちづくり活動の拡大と地域力強化」に重点を置いて進めていく。また、市民活動プラザ星園を札幌市市民活動サポートセンターではじめた活動を発展・成長させる場であると据え、事業を展開し市民活動の入口(きっかけづくり)から専門性の獲得、NP0の事業化まで、連続的、継続的な支援体制構築を目指した事業を引き続き展開していく。また、事業型NP0や困難を抱える若者支援についての専門性を持つ、特定非営利活動法人コミュニティワーク研究実践センターと業務契約を発展的に更新し、協働で管理運営を行っていく。

重点目標

地域活動等事業

- ①市民まちづくり活動団体の活動拠点を提供し、日常的な関わりや連携事業を通じて、成長の加速を促す。
- ②地域課題を把握し、地域の一員として必要とされる施設を目指します。
- ③元気ジョブや入居団体と連携し、子どもや子育て中の保護者、社会に適合しようとする若者、障がいのある方や高齢者などの市民が、安心して地域活動へ参加できるよう積極的な情報提供や機会提供し、生き生きとしたまちづくりの拠点を目指す。

数値目標

(1) 活動スペース入居団体 17 団体(活動スペース入居率 80%以上)

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 |
|----------|------------|
| 17 団体 | 16 団体 (見込) |

(2) 貸室利用登録団体 30 団体

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 |
|----------|------------|
| 30 団体 | 24 団体 (見込) |

(3) 施設利用人数 80,000 人以上(6,600 人×12 ヲ月)

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 |
|------------|---------------|
| 約 80,000 人 | 72,500 人 (見込) |

(4) 貸室稼働率 40%

| 平成 25 年度 | 平成 24 年度 |
|----------|------------|
| 40% | 19.5% (見込) |

※平成 23 年度については比較数値とにならないため省略(平成 23 年 8 月管理運営開始)

| 事業内容 | 時期・回数 |
|---|---------------------------------|
| 1 人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会（事業型NPOの活動事例を取り上げ、様々な分野の市民まちづくり活動団体で検討会を実施） ・協力団体との共催事業 （企画事業課連携 コミュニティワーカー養成事業） ・若者団体の受入及び育成 | 年2回 年1回 随時 |
| 2 連携支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペース活用 ・地域向けイベントの協働運営 ・運営会議（入居団体及び元気ジョブ代表者） ・地域事業への参加及び紹介 | 週1回程度 10月1回 2ヶ月に1回 年2回 |
| 3 市民まちづくり活動団体成長促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・活動スペースの提供 （6ヶ月～1年未満で入居可能な活動スペース） ・貸室の提供 （会議、講演等の利用規模に応じた貸室の提供、活動支援） | 通年 通年 |
| 4 施設管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動プラザ星園の管理業務 ・市民活動プラザ星園の貸室事業、物品貸出等 | 通年 通年 |



VII 施設一覧

(1) 自主運営施設

| | 施設名 | 所在地 | 施設内容 |
|---|-----------|----------------|-----------------------|
| 1 | 滝野自然学園 | 南区滝野 106 番地 | 宿泊室、集会室、食堂、 野外炊事場等 |
| 2 | 市民活動プラザ星園 | 中央区南 8 条西 2 丁目 | 会議室、PC 研修室等 |

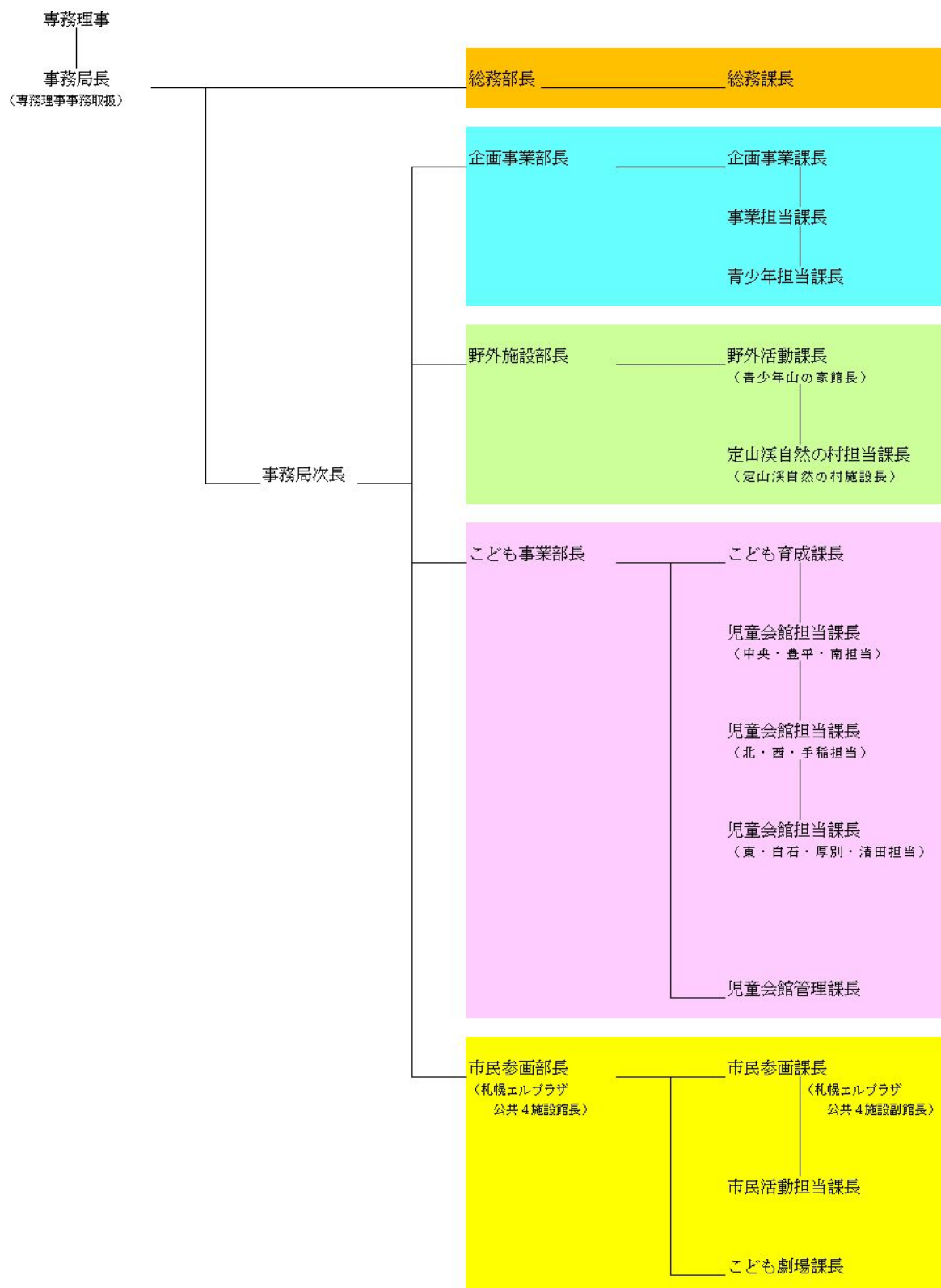
(2) 指定管理施設

| | 施設名 | 所在地 | 施設内容 |
|----|---------------------|-----------------|---------------------------|
| 1 | 児童会館 | 札幌市内 104 か所 | 体育室、プレイルーム等 |
| 2 | こども人形劇場こぐま座 | 中央区中島公園 1-1 | ホール |
| 3 | こども劇場やまびこ座 | 東区北 27 条東 15 丁目 | ホール、工作室、研修室、 会議室 |
| 4 | 若者支援総合センター | 中央区南 1 条東 2 丁目 | 活動室等 |
| 5 | アカシア若者活動センター | 東区北 22 条東 1 丁目 | 活動室、和室、音楽室 体育室等 |
| 6 | ポプラ若者活動センター | 白石区東札幌 2 条 6 丁目 | 活動室等 |
| 7 | 豊平若者活動センター | 豊平区豊平 8 条 11 丁目 | 活動室、和室、体育室等 |
| 8 | 宮の沢若者活動センター | 西区宮の沢 1 条 1 丁目 | 活動室、音楽スタジオ、 体育室等 |
| 9 | 札幌市北方自然教育園 | 南区白川 1814 | 展示室、工作室、多目的室 |
| 10 | 札幌市定山溪自然の村 | 南区定山溪 | コテージ、テントサイト 野外炊事棟 |
| 11 | 札幌市青少年山の家 | 南区滝野 247 | 宿泊室、研修室、多目的ホール 野外炊事場等 |
| 12 | 札幌市男女共同参画 センター | 北区北 8 条西 3 丁目 | 研修室、会議室、料理実習室 託児室、ホール等 |
| 13 | 札幌市市民活動サポート センター | 同上 | 事務ブース、会議コーナー等 |
| 14 | 札幌市環境プラザ | 同上 | 環境研修室 |
| 15 | 札幌市消費者センター | 同上 | |

(3) 受託施設

| | 施設名 | 所在地 | 施設内容 |
|---|-----------|------------|--------|
| 1 | 札幌市ミニ児童会館 | 札幌市内 79 か所 | 小学校内併設 |

VIII 平成 25 年度 組織図







公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会